

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年7月17日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」
ヨハネによる福音書 3章16節

61, 聖書名目ずくし（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記19章4節～25節

19:4 彼らがまだ床に就かないうちに、ソドムの町の男たちが、若者も年寄りもこぞって押しかけ、家を取り囲んで、

19:5 わめきたてた。「今夜、お前のところへ来た連中はどこにいる。ここへ連れて来い。なぶりものにしてやるから。」

19:14 ロトは嫁いだ娘たちの婿のところへ行き、「さあ早く、ここから逃げるのだ。主がこの町を滅ぼされるからだ」と促したが、婿たちは冗談だと思った。

19:15 夜が明けるところ、御使いたちはロトをせきたてて言った。「さあ早く、あなたの妻とここにいる二人の娘を連れて行きなさい。さもないと、この町に下る罰の巻き添えになって滅ぼされてしまう。」

19:16 ロトはためらっていた。主は憐れんで、二人の客にロト、妻、二人の娘の手をとらせて町の外へ避難するようにされた。

19:17 彼らがロトたちを町外れへ連れ出したとき、主は言われた。「命がけで逃れよ。後ろを振り返ってはいけない。低地のどこにもとどまるな。山へ逃げなさい。さもないと、滅びることになる。」

19:18 ロトは言った。「主よ、できません。」

19:19 あなたは僕に目を留め、慈しみを豊かに示し、命を救おうとしてくださいます。しかし、わたしは山まで逃げ延びることはできません。恐らく、災害に巻き込まれて、死んでしまうでしょう。

19:20 御覧ください、あの町を。あそこなら近いので、逃げて行けると思っています。あれは小さな町です。あそこへ逃げさせてください。あれはほんの小さな町です。どうか、そこでわたしの命を救ってください。」

19:21 主は言われた。「よろしい。そのこともあなたの願いを聞き届け、あなたの言うその町は滅ぼさないことにしよう。」

19:22 急いで逃げなさい。あなたがあの町に着くまでは、わたしは何も行わないから。」そこで、その町はツォアル（小さい）と名付けられた。

19:23 太陽が地上に昇ったとき、ロトはツォアルに着いた。

19:24 主はソドムとゴモラの上に天から、主のもとから硫黄の火を降らせ、

19:25 これらの町と低地一帯を、町の全住民、地の草木もろとも滅ぼした。

(上のリンクをクリックし再生ボタンをクリックすると音声流れます。もし途中で止まるようでしたらファイルをダウンロードしてください)

皆さん、お元気ですか？杉山です。今日は、かなり怖いお話です。空から火が降ってきて、町がなくなってしまう、ということが聖書に書いてあります。まるで戦争のようです。でも、これは人がしたことではなく、神様がされたことです。何でそんなことになったのか、一緒に聖書を読んでみましょう。

(けさの聖書箇所を読みましょう)

皆さん、アブラハムさんのことは覚えていますか？神様の祝福の約束を信じて旅に出た人でしたね。このアブラハムさん夫婦と一緒に、甥のロトさんという人も一緒に旅に出たのです。そして約束の地に入ってしばらくすると、二人とも神様から祝福されて、飼っている羊がどんどん増えてよかったのですが、一緒に生活するには場所が狭くなってしまいました。そこでアブラハムさんは、それぞれ別の土地に住もうじゃないか、まずはお前から良い方を取ってくれ、と言いました。そこでロトさんは、死海という湖に近い低い、豊かな土地の方に行って住みました。一方アブラハムさんは山の多い地方に行きました。ロトさんが住んだ湖に近い場所にはソドムという大きな町がありました。

ロトさんは、この町がすっかり気に入ってしまったようです。何しろ、都会だったのです。みんな楽しそうに暮らしています。ところが、実は、この町の人たちは、ちょっと見たところ楽しそうでしたが、実はとても意地悪な人たちだったのです。意地悪というよりは、人を苦しめてもなんとも思わない、むしろ苦しむ人を見て喜んでいそうな人たちでした。

ある時、神様の所にまで、この町で苦しんでいる人たちの声が届きました。そこで神様は、これは本当かどうか確かめてみよう、もし本当に町の人たちが悪い人たちばかりだったら、この町は滅ぼしてしまおう、と決意しました。そこで二人の天使を遣わしました。この天使は若い男の人のように見えたようです。ロトさんは、町の広場でこの人たちがいるのを見てピンとききました。この人たちはきっと天使だ、特別な人だ、そう思って声をかけて家に迎えいれました。ところが、ソドムの町の人たちが押しかけてきて、戸を叩いて言います。「お前の所に来た若い奴らを出せ、いじめてやる」。ロトさんは、「この人たちに乱暴なことをしないでください」と言ってなだめようとしたのですが、「うるさい、お前みたいな最近町に来たばかりのよそ者は黙ってる」と言われて殴られそうになります。そこで天使はロトさんを助けて町の人たちの目を見えなくして追い返しました。

こうして、悪いうわさが本当だったとわかった神さまは、この町を滅ぼすことにしました。でも、ロトさんとその家族だけは助けようとして、町の外に逃げなさい、と言ってくれました。ロトさんは、娘と結婚することになっていた男の人たちに、もうすぐ町が滅びますよ、一緒に逃げましょう、と言いました。でも、その人たちは本気にしませんでした。でも、さっき読んだ聖書に書いてあったように、本当にこのソドムという町は滅びてしまいました。ところで、みなさんは、神様についてどう思いますか。神様は悪いことをする人たちをほったらかしにしているのでしょうか。悪い人が威張っていて、ちっともただしことが行われぬ、そんな風に見える時がありますね。でも、神様は、悪い人たちのせいでひどい目にあっている人たちの声を聞いてくださいます。そして、どうしても他に方法がない時には、しっかりと本当のことを確かめてから、悪い人たちを打たれるのですね。こうして神様は最後には正しいことをしてくださ

るのです。ところで、さっき、どうしても他に方法がない時、と言いました。実は神様はアブラハムさんたちよりもっと後の時代に別の方法を、最も素晴らしい罪の取り扱い方を示してくださいました。それはイエス様の十字架です。ソドムの人たちのような人間の悪さ全部をイエス様は十字架で引き受けたのです。そうして悪いことをした人にも、神様の所に帰っていく道を作ってくれたのです。

お祈り

父なる神さま。私たちのまわりで、悲しいことがあります。悪いことがそのままになってしまっているように見える時があります。神さまなんか何もしてくれない、とおもってしまうことがあります。でも、あなたはすべてを知っていてくれます。そして正しいことをしてくださいます。その最も正しいことはイエス様の十字架でした。この十字架の罪の赦しの力を信じさせてください。主イエス・キリストのみ名によってお祈りします。アーメン

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

9 2、ワワワいっしょに (こどもさんびかをお用ください)